



三本桜

第46号

ふかく考える子 あたためかみのある子 がんばりのきく子
3月の目標： 学校生活のふりかえりをしよう

ありがとうございました

この1年間、本校の教育活動にご理解をいただき、また多大なご協力をいただき、ありがとうございました。

さて、成長には、「目に見える成長」と「目に見えない成長」があります。「目に見える成長」では、身体の成長が分かりやすいです。他には作品コンクールや検定試験などで賞状をとったこと、スポーツで結果を残せたこと、成績が上がったこと、学級のために貢献できたこと、友達がたくさんできたこと、間違っていたことを間違っていると言えたことなど、自分の中に確かな新しい力が生まれています。

一方、「目に見えない成長」もあります。協力することができるようになった、人の悪口を言わなくなった、素直になった、人の気持ちが分かるようになった、ルールやマナーを守れるようになった、感謝する気持ちが多くなった、我慢してがんばるようになった、人にやさしくできるようになったことなどは、心の成長として目に見えない成長ですが、この目に見えない心の成長が土台となって、やがて見える成長に変化していきます。

花も同じで、子どもたちの玄関前花壇にパンジーが咲いていますが、時々元気がない花があって、触ってみるとぼろっと抜けます。根が腐ったり虫に食べられたりしてなくなっているの、まっすぐ立てないのです。元気で色鮮やかな美しい花の下にある根のことを考える人は、少ないと思いますが、根が花を支えています。春に咲くチューリップの球根も、今、土の中で一生懸命芽を出して伸びようとがんばっています。目に見えない成長が、やがて美しく成長して見えてきます。

子どもたちには、次の学年に進級する前に、自分自身のよいところと弱いところを見つめ直し、次の目標に向けて、新たな一歩を踏み出してほしいです。

やってみせ、言って聞かせて、させてみせ、ほめてやらねば、人は動かじ

昨年に続き掲載します。第2次世界大戦中の連合艦隊司令長官だった、山本五十六元帥の言葉です。実際の軍隊の中は、こうではなかったと思われませんが……。昭和初期の言葉なのに、古さをまったく感じさせず、教育のさまざまな場面で効果的な言葉です。給食の準備や清掃活動では特に意識しているつもりですが、なかなか実践できません。この言葉には次の言葉が続きます。一つ達成しても、その次がまだあるのです。

話し合い、耳を傾け、承認し、任せてやらねば、人は育たず

さらに続きます。これだけのことをしないと、人は実らない！ 教育の難しさをかみしめる日々です。

やっている、姿を感謝で見守って、信頼せねば、人は実らず



【令和4年度 卒業式】

子どもたちの夢

第一生命保険株式会社が全国の小・中学生・高校生 計3,000人を対象とした、第34回「大人になったらなりたいもの」のアンケート調査結果を発表しました。小学生の結果を以下に掲載します。

男子

- ①会社員
- ②YouTuber／動画投稿者
- ③サッカー選手
- ④警察官
- ⑤ゲームクリエイター
- ⑥野球選手
- 公務員
- ⑧ITエンジニア／プログラマー
- ⑨医師
- ⑩学者／研究者

女子

- ①パティシエ
- ②漫画家／イラストレーター
- ③会社員
- ④看護師
- ⑤YouTuber／動画投稿者
幼稚園の先生／保育士
- ⑦教師／教員
- ⑧美容師／ヘアメイクアーティスト
- ⑨薬剤師
- ⑩医師

トリマー／ペットショップ店員

この結果から、コロナ禍で在宅勤務が広がったことで、子どもたちにも「会社員」という職業が身近になったこと、「会社員」以外の職業については、自分の好きなものを将来につなげようとしていること、そして、女子には、資格を得て働く職業が多いことが分かります。

さて、「こども手に職図鑑」という本があります。そこに、将来、人工知能（AI）に取って代わられない仕事が100種類掲載されています。AIは、今後ますます、私たちの生活の中に入り込み、それまで人間が行っていたことを、代わりに行うようになるでしょう。しかし、万能と思われるAIには、どうしてもできないことがあります。それは、人間のような「したい」ことの最終判断をしたり、手先や体を使ったりする仕事です。この図鑑では、「ものづくりの仕事」「医療・福祉の仕事」「人ともてなしに関わる仕事」「自然に関わる仕事」「科学・テクノロジーの仕事」などが紹介されています。

その中に、「ユーチューバー」の職業について、紹介されていました。詳しく知りたいと思い読んでみました。そこには、暮らし系ユーチューバーの方の仕事ぶりが紹介されています。この方は、大学を卒業後、デザイン系の専門学校に入学し、アルバイトで動画を作ったのがユーチューバーになるきっかけだったようです。ユーチューバーの収入源は広告です。人気が出てくると、多くのフォロワーがフォロー（応援）してくれます。フォロワーが1000人を超え、動画の再生時間が4000時間を越えると、審査があって、審査を通ると、初めて動画にCMがつけられます。そのCMが流れることで、お金がもらえるという仕組みです。しかし、どんな広告を入れるかは選べず、広告が多すぎると、視聴者がつまらないと感じるので、そのバランスが重要だそうです。

男子の2番、女子の5番人気の職業ですが、実際に、仕事として生活していくには大変そうだと思います。この方も、次のように言ってます。

「ユーチューバーとして人気が出るには、時間がかかるので、根気強く動画を配信し続けることが大事。長く続けることで、流行に乗って、一気に活躍するチャンスに巡り合うかもしれない。最後は、自分を信じて、あきらめずに、チャレンジすることです。」

子どもたちの夢のサポートをする際には、やりがいと大変さの両方を伝えながら、「大変だけどがんばっていこう」という気持ちを醸成してあげたいものです。

